



深草徹の“ここがポイント”

学術会議への任命拒否は独裁 三権分立を無視し、憲法違反



深草 徹

学術会議会員の任命拒否は、学問の自由を侵害するばかりか、三権分立をも無視するものです。

日本学術会議法の制定は1948年。同法は戦前、軍国主義の下で科学が、軍事の「はしため」とされたことの反省に立って、学問の自由を尊重し、学術会議の完全自治を保障する、という建てつけになっています。

学術会議は国の機関であり、その構成メンバーである会員は特別職国家公務員ですが、その選出については、学術会議の完全自治の下、選挙制という柱が据えられました。しかし、選挙制という柱に歪が生じたので、1983年の法改正により、推薦制という柱にとりかえられました。その際、学術会議の完全自治を保障するという建てつけが、そのまま維持されたことは言うまでもありません。

選挙と違い、推薦では任命という形で応答する必要が生じます。法改正時、政府は、任命は推薦に随伴する付随的行為だと説明しました。もう少し噛み砕いて言うと、任命はあってもなくても、どちらでもいいとはいえ、ないと恰好がつかない「盲腸のようなもの」だということなのです。

盲腸に消化機能を持たせること、つまり任命に実質的意味を持たせ、会員人事に介入することは、学術会議の完全自治という法の建てつけを変えること、即ち法改正することを意味します。

菅首相は、学問の自由を侵害するばかりか、国会の立法権をも篡奪し、三権分立を無視しようとしているのです。それは独裁です。

(深草憲法問題研究室主宰、九条の会. ひがしなだ筆頭代表世話人)

世相雑感

仕事師内(しない)閣

横林賢二

菅首相は自らの内閣を「仕事師内閣」と評した。森友・加計・桜問題には触れず、コロナ禍で、1月から9月までに6万人を超える失業者が更に増えている。具体的対策はしない。

逆に、学術会議の会員の推薦に対し、菅政権に反する意見を言う6人の会員を排除した。

苦しんでいる勤労国民への対策をしない菅新内閣。仕事をしない内閣と叫びたい。

(須磨区在住71歳)

神鋼石炭火発増設

経産省が横やりで強行 環境行政を歪め、人格権、平穏生活権を侵害

高橋 武三

9月24日の神戸新聞トップ記事の見出しは「神戸の神鋼火力増設計画 環境相意見書に経産省横やり」でした。

神戸や周辺市の大気を汚染し、神戸港の海水温を上昇させ、憲法で保障された「人格権」「平穏生活権」を侵害する神戸製鋼所の石炭火力発電増設に対し、公害調停で反対を訴え、民事と行政の裁判で建設稼働差し止めを闘っている私たちは、経済産業省の横暴を許せません。

経産省は、環境相意見書から、CO2 排出量 380 万トン増加を削除させ、「環境保全措置が満たされない場合は、発電所設置を認めることはできない」の文言を修正させ、関電に CO2 排出削減を確実に実施させる意見も、削除させました。

原発と石炭火発を基幹電源とする経産省が、まっとうな環境行政を歪め、市民生活を脅かしていることを、情報公開請求が暴きました。憲法を暮らしに生かすためにも、原発と石炭火発推進の間違った国策を転換させましょう。

(神戸の石炭火力発電を考える会)

映画と学習会ご案内

「テルアビブ・オン・ファイア」鑑賞 ユーモアの中で分かりやすく

寺川重憲

神戸映画サークル協議会の11月例会は、『テルアビブ・オン・ファイア』です。ガザ地区、ヨルダン川西岸のパレスチナ人ではなくイスラエルのエルサレム近郊に住むパレスチナ人（イスラエルではアラブ系イスラエル人と言われる）が主人公です。

主人公のサラームは第三次中東戦争前夜（1967年）を舞台にしたパレスチナの人気TV番組「テルアビブ・オン・ファイア」でヘブライ語の言語指導を行っています。彼はTV局への通勤途中にある検問所でイスラエル軍司令官アッシから尋問を受けます…。映画は深刻なパレスチナ問題を描くだけでなく、ユーモアを交えて観客を笑い、楽しませてくれますが、その笑いの中にもユダヤ人とアラブ人（人口比21%）間の複雑な状況や心情が分かりやすく描かれています。

京都大学の岡真理先生を迎えて、「映画から見える何故？ パレスチナの過去と現在」（11月6日午後7時～市立総合福祉センター）の学習会を行います。関心のある方は「神戸映サHP」をご覧ください。

(神戸映画サークル協議会)



仙台高裁で画期的勝訴！！ 国と東電の責任を厳しく断罪

森松明希子

仙台高等裁判所の法廷で9月30日、国と東京電力を被告とする福島原発被害者による民事の集団訴訟では国内最大規模とされる、生業（なりわい）訴訟の控訴審判決が下されました。

この法廷で、上田哲裁判長の判決を直接、聞くことが出来ました。

実際に事故が起きれば、重大な結果をもたらす原発を動かす東電の義務違反の程度は、決して軽微とは言えない、と言い切り、さらに「不誠実ともいえる一審被告東電の報告を唯々諾々と受け入れることとなったものであり、規制当局に期待される役割を果たさなかったものと言わざるを得ない」と、国の責任を完全なまでに認定。

明確に国を断罪する、誰が聞いても納得できる当たり前のこととはいえ、本当に素晴らしい判決でした。

しかし、「損害」の認定については、責任を問われる側である被告側の引いた不条理な線引きにより、ともすれば被害者同士を分断させるような不合理なものでした。強制避難区域の内外、福島県外の原告団で構成する私たち原発賠償関西訴訟原告団は今こそ、原発事故被害の本質から目を逸らさず、重大かつ不可逆的で憲法で保障された、あらゆる人権侵害をもたらす原発事故による「損害」について主張・立証し、世論のコンセンサスを得て参りたいと思います。

(原発賠償関西訴訟原告団代表)

特別展へのお誘い

六アイで「無言館」特別展 11月29日（日）まで開催中

今泉 修



六甲アイランドの神戸ファッションプラザ 1 階にある「神戸ゆかりの美術館」で、開催中の特別展『無言館 一遺された絵画からのメッセージ』を見てきました。

信州上田にある、戦争で亡くなった画学生たちの作品を収集・展示する美術館「無言館」の収蔵作品を、神戸で見ることが出来る展覧会です。

若き画学生たちの遺作は、風景画、人物画、象徴主義など、それぞれ若き芸術家が見て、感じて、画布の上に表現したいと望んだ、生きた証です。

必ずしも戦争がモチーフではなくても、鑑賞していると、生きてもっといろいろな画を描きたいと思っていたであろう芸術家たちの希望を、否応なく

断ち切った戦争とその時代に思いを巡らさざるを得ません。

いつかは上田の「無言館」も訪れてみたいところですが今回、ここ東灘で見ることが出来る機会ですので、ぜひお勧めします。

六甲ライナー「アイランドセンター」駅下車、南東すぐの神戸ゆかりの美術館で11月29日まで（月曜日は休館）、開催しています。

(九条の会. ひがしなだ世話人 東灘区在住)

靴を選ぶ権利を！

関本（市川）英恵

巻爪に悩まされている私は、医者にハイヒールを履かないよう言われています。しかし、就活の時や就職初日に「何でヒールじゃないの？」と、ローファーを履いていたら言われました。男性はヒールを履いていないのに……。今の職場はスーツで出勤しないので動きやすい靴を履いていますが、ヒールが強制される企業へは転職できません。



#KuToo 運動は、性差によるハイヒールやパンプスの強制を禁止するよう企業に通達をしてもらおうと、厚生労働省に署名を提出しています。

労働基準法は、労働者に対し生存権を保障するため制定されました。男女雇用機会均等法は、法の下での平等を保障する憲法の理念にのっとり制定されました。どちらにも「靴」という言葉は出てきませんが、目的や理念に沿って全ての人が自分に合った靴を選べるようになれば、効率よく健康的に働けると思います。

（「憲法の歌」作詞者、「住むこと 生きること 追い出すこと」著者）

住吉山手から

鴨子が原のキノコ

公庄 れい

鴨子が原郵便局の北側に広がる団地の中には、所どころ、自然の山をそのまま残した所がある。そこにはハツタケ、アカハツ、アカヤマドリ、ヌメリイグチ等々が生える。

夏の終わりから冬の初めまで、雨の後は、私は落ち着かない。

が、有難いことに、ここのキノコを採る人はいないようで、ウロついている私を、胡散臭そうに見て通り過ぎる。

ところが、この10月13日夕方、ヌメリイグチを採っている私に声をかけてきた、70代と思しきオバさんがいた。「そのキノコね。干して戻して、炊き込み御飯にしたらおいしいよ。私は田舎で育ったから知ってんねん」。

オバサンは、そう言い残して、サッサと帰ってしまった。野生のキノコ独特のコリコリした食感、人の五官に纏わりつくような蠱惑的（こわくてき）な香り、アカヤマドリの茹で汁で染めた布の透明感のある明るい黄色等々、魅力は尽きない。

だが、ご用心！！ 毒キノコの代表のような、テングタケ類も出ている。

（孫たちの将来を案じるおばあちゃんの会）

日本学術会議が推薦した新会員のうち、6人が菅首相から任命されず、その理由がはっきりしないことが問題となつている。「学問の自由への国家権力の不当な介入と非難する意見があるが、私はそもそも民主主義の問題だと思ふ」と前日本学術会議会長の山極寿一氏は述べている。まったくそのとおりだろう。日本の民主主義は成熟しているのか、ということも問われているのだと思ふ。（N 生）



カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6
番号 217129
名義 九条の会. ひがしなだ